

平成29年度 「市民発」の政策提言

秩父市議会議員 清野和彦(無所属)
「市民自治ちちぶ会議」

「市民発」の政策提言について

- 28年6月より、市政への市民参画の手法、市の計画、議会、財政、政策提言などについて学び合う「市民自治ちちぶ会議」を開始。「市民発」の政策提言づくりを決定。
- 28年度は、アイデア公募とオープンミーティングによる検討・合意形成を経て、10分野29項目の政策提言を秩父市に提出。
- 29年度は、新たに3名からアイデアをいただき、8回のオープンミーティングを開催。延べ18名参加。参加者の合意がとれたものを提言とした。
- 「市民発の政策提言と評価サイクルづくり」にむけて、財政研究、昨年度の政策提言の評価、政策提言づくりにむけたオープンミーティングを計15回通年開催し、延べ51名参加。(12月に振り返りの会を予定)

平成29年度 「市民発」の政策提言 14分野・39項目

※分野については「第2次秩父市総合振興計画」の政策体系を参考にし、
その他で必要と考えられる分野については追加。

就労対策の推進

(1) 秩父の伝統工芸の現状についての
調査と状況の公表

商工業の振興

(1) ネットワークの基盤となるITインフラの強化

観光産業の振興

- (1) 観光マップの集約化
- (2) 喫煙所の情報・外国語対応の促進などを
含むまちなか表示の整備とイメージの統一
- (3) まちなかへの秩父グルメ博物館(仮)の
設立
- (4) 姉妹都市の料理を紹介する施設の設立
- (5) 横浜方面からの観光誘客の推進

観光産業の振興

(6) まち歩き・エコツーリズム・

グリーンツーリズムなどにおけるガイド業の育成

(7) 体験型養蚕ツーリズムの推進

(8) より地域経済の活性化に繋がる形での

アニメスタンプラリーの展開

(9) 春・秋の札所巡礼のプロモーションの強化

(10) 地域ぐるみで郷土の歴史を再認識させる事業

の充実(平将門伝説、秩父氏、高野佐三郎など)

観光産業の振興

(11) 成田～秩父、大宮～秩父、
川越～秩父などの高速長距離バス運行に
向けた事業者への提案

(12) ミューズパークを活用した
姉妹都市の子どもたちを対象とする
自然体験型ツアーの開催

農林水産業の振興

- (1) 秩父の固定種・在来種農作物の
ブランド化の推進
- (2) 循環型農業の推進をめざした
自然栽培推進係(仮)の設置
- (3) 農林業・養蚕などの分野における
「地域おこし協力隊」の増員
- (4) 若者の農林業分野などへの
就労サポートの強化

地域医療の充実

- (1) 産婦人科の開業医の招致、
開業時・開業後の補助制度の拡充、
助産院設立の検討

福祉の充実

- (1) 認知症に対する理解の促進
- (2) 耕作放棄地などを利用した
農福連携事業の推進

子育ての充実

(1) 秩父独自の自然保育認証制度の策定

(2) 市内高校生までの医療費無料化

(3) 公立小中学校の給食費無償化

学校教育の充実

- (1) 子どもたちの秩父の自然への理解や感性を高める教育の充実
- (2) 食育のための地産地消給食の推進

生涯教育の充実

- (1) 武蔵ヒートベアーズのような地域密着プロスポーツとの協定

生活環境の整備

(1) 生ごみ資源化モデル事業の実施・支援

安心安全なまちづくり

(1) 大規模の災害時の被災者・被災企業の
受け入れ態勢の整備

地域基盤の整備

- (1) 既存の道路やトンネルなどの維持修繕、
まちなかの渋滞解消
- (2) 医療機関へのアクセスを容易にする
コミュニティバスなどの公共交通の整備
- (3) 交通弱者の移動手段を確保するための調査研究
- (4) 西武鉄道株式会社への特急電車増便の要望
(6時台の平日便の運行、ならびに22時30分池袋発
便の全日運行)
- (5) 皆野寄居有料道路の料金無料化・割引の要望

若者政策の推進

(1) 未成年不就労・不就学者のための
居場所づくり

(2) 多様な若者が参画する次世代ちちぶ会議
(仮)の開催

移住政策の推進

- (1) 空家＋農地、空家＋山林の物件情報の
収集と情報発信
- (2) 「二拠点居住」を切り口にした
シティプロモーションの強化
- (3) 移住者の話を住民が聴く会の開催